

議題1「大正区将来ビジョン2025（案）について」意見と対応一覧

【当日出された意見等】

テーマ	意見内容	委員名	回答	対応	担当課
1 地域まちづくり実行委員会の活性化	<p>大正区は犯罪が少ないということはとてもいいことだと思っており、その要因として町会の加入率は結びつかなかったもので、そういう視点もあるのかと思いました。</p> <p>私が住んでいる他区では、地域のフェイスブック等がなく、町会やまちづくり実行委員会の活動が見えないため、住んでる者として不安に思います。</p> <p>一方、大正区はまちづくり実行委員会や地域ごとにSNSの発信をされており、それがとても目に入ってくるので、大正区の地域の方はとても頑張っているのが見えます。今後もどんどん地域で発信して欲しいと思います。</p>	姉川委員			地域協働課 (防災防犯) (地域協働)
2 地域まちづくり実行委員会の活性化	<p>もともとその場所に住んでいた人は地域活動協議会の活動を知る機会があると思いますが、引っ越してきた人は知る機会がないと思います。引っ越してきた人に対するアプローチの仕方はいろいろあると思いますが、今の私たちより若い家族世代の人たちは、地域で何をやっているか、インスタグラムやツイッター等を見るのが主流かだと思います。</p> <p>若い人でも特に最近のZ世代(※1)は、CSR(※2)や社会貢献に対してとても積極的な考えや活動を行う人が多いと感じます。SNSを使った活動を地域だけでなく区役所もリツイートやフォローバックすれば、相互的なものが生まれるのではと思います。</p> <p>※1 1995年頃～2012年頃に生まれた世代</p> <p>※2 「企業の社会的責任」 企業が、日々の経営活動において人権や環境といった社会への配慮に基づき、従業員、消費者、地域社会に対して責任ある行動を行うこと。</p>	角元委員		<p>大正区では、地域まちづくり実行委員会に対する効果的な地域情報の発信にかかる支援の一環として、区役所からまちづくりセンターへの委託業務において、広報アドバイザーを配置しています。地域が自ら発信するHPやSNS等において、ニーズや実情を踏まえた効果的な情報発信や、地域活動への参画促進等にかかる支援に取り組んでおり、令和5年3月時点で6地域がSNSを活用した情報発信に取り組んでいます。</p> <p>区役所といたしましては、このほかSNSの相互フォロー・シェア等による広報連携を行うことで、それぞれの情報発信の強化に取り組んでまいります。</p>	総務課 (庶務) 地域協働課 (地域協働)
3 地域まちづくり実行委員会の活性化	<p>我々町会の連合会長も、もう次の担い手を探さないといけない時代です。50代で町会長になろうという方や、定年の方たちがずっと入れるような何かを考えていかないと、5年、10年すぐにたってしまう。</p> <p>例えば大阪市に何万人もいる市役所の方を定年された後に地域に紹介して、地域の活性化に役に立つようなことも考えていただきたい。自助、共助と言っても、もう我々が人を助けたくても人を抱えられないのが現状です。高齢化率が大正区が一番多いと書いてましたが、そういう時代になってることを市の方も真剣に考えていただきたい。</p>	堀江委員		<p>地域の課題や資源等地域の実情を最もよく知っておられる住民等が中心となり「自らの地域は自らの地域が決める」という考えに基づき、防災をはじめ「自助・共助」の仕組みを中心に各地域の取組を進めていただいているところです。</p> <p>お申し出のとおり地域活動の担い手不足は喫緊の課題であると認識しており、各地域においても様々な工夫を行っていることと存じます。区役所としましては、あらゆる世代の住民が地域活動に参加するきっかけづくりとなる事業や情報発信を行うとともに、各地域における好事例の共有や広報紙による町会加入の呼びかけ等、町会加入促進に向けた取組を実施することで新たな地域活動の担い手の確保につなげてまいりたいと考えております。</p>	地域協働課 (防災防犯) (地域協働)
4 地域防災力の向上にかかる「公助」の充実	<p>大きい病院が災害時にどう動くのかということや区役所も知っておいたほうがいいと思います。病院自体がどういう取組をしていて、区民をどういうふうに入受けようとしているのかなどを区役所が把握していただければ、よりスムーズな連携ができるのかなと考えます。</p>	石田委員		<p>いただいたご意見のとおり、医療機関の災害対応について区役所が把握しておくことは重要と考えます。</p> <p>令和5年度には、医療機関と医薬品ローリングストックの協定を締結する予定ですので、そういった観点も含め、今後どのように医療機関と連携した訓練が実施できるかについても検討してまいります。</p>	地域協働課 (防災防犯)

議題1「大正区将来ビジョン2025（案）について」意見と対応一覧

【当日出された意見等】

テーマ	意見内容	委員名	回答	対応	担当課
5 区政会議の運営	区政会議での議論を踏まえ、外国人の対応について将来ビジョンに付け足したことの説明があり、とてもいいなと感じております。前回から変わったところを説明したことにより、会議の内容自体が前回よりも分かりやすくなったと思っています。 会議で発言したことで変わったんだと思ってもらえれば、より参加した意義があり、皆さん納得できるのかなと思いましたが、自分でも分かりやすかったのがよかったと思いました。	角元委員		区政会議で委員の皆様いただきましたご意見に対しましては「意見と対応一覧」を作成し、お知らせさせていただくとともに区の施策に反映したご意見等につきましては、次回の区政会議で口頭で説明するなど、よりわかりやすく、また参加してよかったと思われるような区政会議の運営に努めてまいります。	総務課 (庶務)
6 区政会議の運営	日本語教育機関にいる者として、外国人について光を当てて将来ビジョンに取り込んでいただき、ありがとうございます。 区役所の職員の方も「やさしい日本語」を使っていたりするなど、サービスの向上をめざしていただけていることは非常にありがたいと思います。	柘委員			総務課 (庶務)
7 交通インフラ	パブリックコメントに対する回答について、大正区のエリア価値を向上させるためには、やはりインフラと相関的なものがあるのではないかと思います。電車は大きがかりなインフラなので、大正区だけで決めることもできないですが、大活躍しているバスの便利さを特色としてはいかがでしょうか。 「バスがこんなに使いやすいんだ」という周知ができたなら、仮に電車がなくても、インフラが整っているまちだと打ち出せるのではと思いました。パブリックコメントに対して大正区の答えが答えになってないと、この意見をしてくれた人に思われるんじゃないかと思って言わせてもらいました。	土井委員		ご意見のとおり、大正区についてはバスの本数も多く、市内唯一の急行バスが運行されています。また梅田や難波、天王寺といった主要ターミナルまで直通で行けるなど非常に利便性の高い交通インフラが整っていますので、パブリックコメントのご意見に対する大正区の考え方として、回答するとともに今後機会をとらえてアピールさせていただきます。	総務課 (庶務)
8 交通インフラ	インフラについて、レンタル自転車等は増えているのでしょうか。京セラドームでイベントがあるときは大正駅周辺全体の駐車場が埋まるのですが、大正区は南側にも駐車場がたくさんあります。そこに車を呼び込み、そこからレンタル自転車で行けるという形にすれば、周辺の混雑も緩和され、大正区にお金が落ちるし、その近所の飲食店に入ってもらえるかもしれない。駐車場マップを配るなどすれば、少しは大正区が潤うのかなと思います。 電車を通すというのはかなり難しいと思いますが、電動アシスト付き自転車ならば、43号線から難波ぐらいまでずっと行けますし、レンタル自転車だったら駐輪場の問題もそこまで要らないので、その拡充があればいいと思いました。	南委員			平成30年に閣議決定された「自転車活用推進計画」において、目標の一つである「自転車交通の役割拡大による良好な都市環境の形成」のため、シェアサイクルの普及を図ることとしています。 大正区においても、市の実情やニーズを踏まえ、今後検討してまいります。

議題1「大正区将来ビジョン2025（案）について」意見と対応一覧

【当日出された意見等】

テーマ	意見内容	委員名	回答	対応	担当課
9 まちづくり	2025年の大阪・関西万博に向け、最近弁天町や港区等のホテルからアルバイト等の募集がたくさん来ますが、大正区にそういったホテル等の誘致はされないのですか。インバウンドが戻ってくる中で、そういう業界も活性化できないのかなという感想を持っております。	柘委員	<p><古川 区長> もちろん大阪市においては、インバウンドは一番の活性化策、目の前にすぐつかめるチャンスと考えております。地価が上がるのが必ずしもいいとは限らないという前回の御意見もありましたが、実際、コロナ禍になる前はかなりインバウンドによって大阪の地価、市場価値としての価値が上がった部分があります。 しかし、大正区の駅前土地がほとんどありません。また、大阪環状線が区全体の端をかすめているだけという特徴的なアクセスがネックになり、採算や効率性が悪いという判断を事業者はされているのかと思っております。大きな土地と良好なアクセスが揃ってないと、なかなか誘致までは持っていけないというのが、我々大正区民としての悩ましいところです。 したがって、大正区へのホテル誘致や、インバウンドを含めた来阪者・来街者を獲得していくには、もう少し抜本的な何かがないといけないと常々思っておりますが、まだ妙案はございません。</p>	回答済み	総務課 (庶務)
10 目標値の設定方法	<p>ビジョンの目標値の決め方が少し気になります。全部何%アップ等で決めてるのかと思ったら結構全部ばらばらですし、37ページ4番のイは、「市全体の目標値を書いています」と理由は分かるんですが、現状値より下の目標値を書くべきなのか。 また、45ページの区役所の窓口サービスの格付について、これも何で決まっているのか。委託業者の話だからあまり区役所は関係ないのではと思いながら見ていました。</p>	南委員	<p><大津 区政企画担当課長> 目標値につきましては、区役所が行っている区民意識調査や、市民局が行っている区民アンケート等の調査結果の数字を参考にしながら成果目標として使っているのがほとんどです。当然、現状の数値より3年、4年後なので、高い数字をめざすようにしていますが、大阪市全体でめざしている成果目標もありますし、区役所としてめざしている数値もあります。まちづくり実行委員会のところは、大阪市の市政改革プラン3、1で全市的な目標がこの数字になっており、大正区は既に超えているんですが、オール大阪の目標に合わせている形です。</p> <p><長瀬 総務課長> 格付につきましては、各フロアの職員の対応や電話対応、接遇等を民間企業が覆面で調査に来られて、その評価で出されています。現在大正区は星2つですが、民間の施設と比較してもかなり高度な星3つをめざして取り組んでいきたいと考えております。したがって、委託業者というより、区役所職員全体の接遇を評価していただいています。</p>	回答済み	総務課 (庶務)

【当日出された意見等】

テーマ	意見内容	委員名	回答	対応	担当課
11 予算	書類番号5の区長自由経費予算（案）について、TUGBOAT_TAI SHO運営事業が令和5年は金額が増額していますが、何で上がっているのか聞きたいです。 また、音楽振興事業について、今年度206,000円がそのまま来年度も据置きとなっていますが、どのような事業をされているのか、その内訳を教えてください。	角元委員	<長瀬 総務課長> TUGBOAT_TAI SHO運営事業は、TUGBOAT_TAI SHOの河川占用料であり、大阪府の予算です。土地代を民間事業者からいただき、大阪市から大阪府に納めている分です。 また、音楽振興事業については、区役所コンサート開催経費です。	回答済み	総務課 (庶務)
12 区CM 予算	公園施設整備等を計上している区CM予算について、建設局や環境局等に指示するときの費用という説明でしたが、各局で組んでいる予算とはまた別なんでしょうか。 また、どういう関係性になるのでしょうか。	土井委員	<古川 区長> シティ・マネジャーというのは、局を統括して、ニア・イズ・ベター（地域のことは地域が決める）を実現するために、区長の立場で局に指示して事業を実施する立付けです。 3枚目の公園施設整備については、安全安心・リフレッシュという項目立てにして、地域が自分で優先順位をつけたりできる予算になっています。例えば、大きく市道をつくる場合は、同じ建設局でも道路整備や基幹的インフラの整備などは局が予算を執行し、区長は指揮しません。しかし、地域に特化した事業、地域で優先順位を決めたり、やるやらないを決めたりできるものについては、区長の目を通して建設局に予算が配付されているという形になっております。したがって、項目が幾つかに分かれていて、区長が指揮してもよいものだけがここに載っているという立付けになっています。	回答済み	総務課 (庶務)
13 区CM 予算	区長とシティ・マネジャーが分かれているのは大阪市だけの仕組みですが、大阪市の中で区長とシティ・マネジャーを別の人が担っている区はあるんですか。	角元委員	<古川 区長> シティ・マネジャーは24区とも区長が兼務することになっています。	回答済み	総務課 (庶務)
14 区長自由 経費	区長自由経費はもっと自由に使えるものだと思っていましたが、事業に対しての経費ということですね。 子供を呼び込む事業等を区で勝手にすることは、やはり自治体ではないから難しいのですか。大阪市横並びの事業にしないといけないということになるのでしょうか。	姉川委員	<古川 区長> 区長自由経費として配分されている額について、区役所に相当する部分の歳入を人口規模や道路の面積、公園面積等を加味して24区で割り返して配分されますので、大正区はとて小さく、日々悩んでいます。 ご説明したとおり、来年度予算は3億2,400万円とありますが、このうち半分くらいが庁舎管理と住民情報の委託で消えてしまい、あと地域活動（まちづくり実行委員会）に対する補助金など中間支援組織を維持する予算で4,000万程消えてしまう。したがって、自由経費という名前がついていますが、意外と使途が決まっております。自由に使えるのは音楽の振興事業やエリア価値の活性化事業など、少ししかありません。この辺で毎年苦労しながらも、いろいろな事業を少しずつやっているというのが自由経費の実態です。 しかし5年度は、区政会議委員の御意見も頂戴しながら獲得した「居場所」という概念を何とか予算につなげるため、学習・登校サポート事業を増額しました。これにより、不登校対策に来年度は少し力を入れられるというのが、胸を張りたいところです。	回答済み	総務課 (庶務)
15 防災 防犯	4月からヘルメット着用が努力義務化されますが、ヘルメットも5,000、6,000円はするので、なかなか皆さんに行き渡るの難しいのかなと思います。区役所から購入費用が出されることはないでしょうか。	柘委員	<村田 副区長> 先ほど区長が申し上げましたとおり、自由になるお金というのが非常に少ないのが現状です。ヘルメット着用が努力義務になりましたので、できるだけ着用していただきたいという気持ちはございますが、お金がございませんので、皆さんへの補助制度をする予定はございません。 しかし、前回の区政会議でもあったと思いますが、自転車のマナーは非常に課題だと考えていますので、マナーの啓発につきましては、大正区役所として積極的にやっていきたいと思います。	回答済み	総務課 (庶務)
16 防災 防犯	昨年11月、避難所に置いてくれている乾電池が全て使えませんでした。電池だったら10年、15年で期限が切れるので、物を置いたらそれで終わりじゃなく、ある程度チェックしていただいて入れ替えてもらえたらと思います。	大石委員	<中務 防災防犯担当課長> 電池につきましては、おっしゃるとおり使用期限が切れており、早急に各避難所へ新しい電池を入れさせていただきました。申し訳ございませんでした。 防災備品は、訓練等でどんどん使っていて、その中で潰れたような物があれば、大阪市の備品は、大阪市のほうで修理なり、買い替えなり、予算の範囲内でやらせていただくことになると思います。	回答済み	地域協働課 (防災防犯)

【当日出された意見等】

	テーマ	意見内容	委員名	回答	対応	担当課
17	防災 防犯	訓練で備蓄品を使おうかとなかなか踏み切れないです。訓練で電池やラジオを使用する際、区役所に事前了解を得ないといけないのでしょうか。	大石委員	<中務 防災防犯担当課長> 電池は消耗品ですので、訓練で使っていただいて、なくなった分についてはまた補充ということになるかと思えます。	食料や飲料水などの備蓄品は、食品ロスの削減の観点から1年未満のものについて、訓練等で活用していただけるほか、ラジオ、懐中電灯などの資材についても、いざという時に備え、ぜひ訓練等でご使用いただければと思います。	地域協働課 (防災防犯)

議題3「令和5年度大正区事業・業務計画書（案）について」意見と対応一覧

【当日出された意見等】

テーマ	意見内容	委員名	回答	対応	担当課
18 日ごろの見守り活動の体制構築	要援護者の見守りネットワークのDX化について、予算もあるのではというの理解していますが、通信環境を整えてインフラを整備することで、必要な労力を割かなくていいというのは容易に想像できると思います。	石田委員		要援護者名簿のDX化については、個人情報保護の観点もあり、難しい部分が多々あると考えております。しかしながら、地域が見守り活動を行う中で、情報の更新がスムーズに行われる必要があると考えており、その手法については、今後、所管局（福祉局）等と連携し検討してまいります。	保健福祉課（福祉）
19 認知症施策の推進	認知症サポーター養成講座について、認知症サポーターはどんどん増えたほうがいいと思うので、地域で活性化させるため、企業に出向いたほうがいいのではないのでしょうか。 開催について働きかけを行っていくよりは、より重要性を問うた上で、半ば地域の取組ですという形で広く認知症サポーターを実務的に増やしていくという段階まで行ったほうが、今後の日頃の見守りの活動体制やネットワーク化、予算の関係上DX化できないところを補えるのではないかなといったところで意見を書かせていただきました。またいろいろと御検討をよろしく願います。	石田委員		いただいたご意見をふまえ、企業や地域等で、幅広く認知症サポーターを増やすことができるよう検討し、区社会福祉協議会とともに取り組んでまいります。	保健福祉課（介護保険）
20 がん・生活習慣病予防対策の推進	事業・業務計画書（案）抜粋版6ページの取組番号20について、大正区民の平均寿命・健康寿命は大阪市と比べて短いと書いていますが、大正区は区民の平均年齢がどんどん上がっていったら平均寿命が短いというのは、原因は何だったのか追求しないのでしょうか。 空気が悪いと一時言われていましたが、大分環境は変わってきたかなと思うんですが、今もそうなのか。 これがヒントになって、大正区の平均健康寿命が上がってきたので住みやすいですよということになれば、私の年代の人も住みたいと思うようになるのかなと思ったので、一番気になりました。そこをどういうふうにしていきたいのか、今後の取組としてイメージがあるのであれば、教えていただきたいです。	角元委員	<嶋原 保健福祉課長> 大正区は生活習慣病の有病者率が高く、飲酒やたばこの喫煙率も市に比べて少し高いこともありますので、それが1つの要因になっているのかと思います。 がん検診等もできるだけ多くの方に受けてもらうよう、啓発が必要にはなってくると思います。また、各医療機関でされている部分に対する補助の関係もあつたりしますので、そういうところを含めて、まずは取り組んでいくということが1つの要素となっていくのかと考えています。	大阪市はかつて大気汚染による公害健康被害第一種指定地域に指定されていましたが、昭和63年に指定地域を解除されています。 なお、大阪府の大気環境について、大阪府ホームページよりご確認ください。 https://www.pref.osaka.lg.jp/kankyohozen/taiki/joukyou.html	保健福祉課（健康づくり）
21 がん・生活習慣病予防対策の推進	平均寿命や健康寿命が高い区と大正区が何が違うんだろうと思ったのですが、平均寿命が一番高い区を御存じですか。 飲酒を伴う食事をすることが健康寿命を縮めるのであれば今後行かないほうがいいかもしれないし、区民だけではないと思いますが、掃除してたらたばこがすこく落ちていたので、ほかの区と比べてたばこを吸ってる人が多いなど、大阪府でデータ化されているのでしょうか。大阪市と比べて短いということを書かれているのであれば、そういうデータも出ているのかなと思ひまして、教えていただきたいです。	角元委員	<嶋原 保健福祉課長> 平均寿命は男性では天王寺区が最も高く、2番目が北区、3番目が中央区となっています。女性では北区が最も高く、2番目が阿倍野区、3番目が住吉区となっています。 実際にはいろいろな要因があるかと思いますが、たばこの喫煙率にしても大正区は少し高いことが、実際に率が出ております。もちろんたばこを吸われている事が全てというつもりはないですが、やはり1つの要因ではあるのかと思います。 また、健診等もできるだけ受診率を高くしていくことは、早期発見・早期治療につながっていくと思います。やはりがんになる率は日本の中でも高いところもあります。早期発見で治療につながるということも含めて、ここにも書かせてもらっているところをできるだけ啓発していくことで、大正区自体の健康寿命などを上げていけたらと考えております。	平均寿命が高い区については回答のとおりです。 喫煙率については、大阪市国民健康保険特定健康診査受診者のデータを元に統計を行っており、大正区の令和3年度の喫煙率は、24区中で男性が第1位、女性が第3位となっていますので、禁煙に関しての啓発を若い世代を含めて取り組んでまいりたいと考えております。	保健福祉課（健康づくり）

【当日出された意見等】

テーマ	意見内容	委員名	回答	対応	担当課
22 がん・生活習慣病予防対策の推進	<p>地域の方に「何で健診受けないんですか」と聞くと、「病気が見つかるのが怖いから」という回答が多いです。見つかるのが怖いということは健康診断を受けること自体が怖い。早期発見はいいことだけでも、がんが見つかったら見つかったで怖いことなので、気分も落ち込むし、そういうのが受けるのをためらう1つの要因なのかと思います。</p> <p>なので、健康診断は怖いものではなくて、楽しく生きていくための1つのツールで、ぜひ楽しく健診を受けましょうというPRのほうがいいんじゃないかというのは地域の方や健診を推進してくれている人からよく聞きます。区役所ももっと明るくしてくれたいのにと書いていましたので、そういうアイデアがあればぜひやってもらえたらと思います。</p>	姉川委員		<p>広報紙5月号において、元気うちに特定健診を受けることのメリットについて掲載しました。今後も、明るく積極的に特定健診を受診していただけるよう広報に努めてまいります。</p> <p>また、がん検診など各種健（検）診を受診されると大阪健活マイレージ「アスマイル」でポイントが貯まること等、区民の皆さまに楽しくお得な情報を各種媒体を通じて広報・啓発を行ってまいります。</p> <p>なお、大正区役所で実施している健康講座についても大阪健活マイレージ「アスマイル」に登録しており、参加者に活用していただいております。</p>	保健福祉課（健康づくり）
23 がん・生活習慣病予防対策の推進	<p>寿命が短いことについて、SDH（健康の社会的決定要因）というのがあり、生まれた地域や国、家庭等の格差によって寿命も変わってくるということが言われています。独居も一番寿命が縮む要因の1つなので、独居の方が地域とつながることや、まちをよくしていくまちづくりなど、ソフトな部分も含めた健康寿命の延ばし方も手段としてあるのかなと思いました。</p>	姉川委員	<p><古川 区長> 健康度の決定要因であるSDHという数値にも着目しながら、これが非常にばらつきがあって、大正区の要因レベルが低かったりしたら何か考えていかなければいけないと思います。</p>	<p>住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築が重要であり、地域及び関係機関と連携し取り組みを進めてまいります。</p>	保健福祉課（健康づくり）
24 がん・生活習慣病予防対策の推進	<p>特定健診受診率の目標値を30%にされていますが、今の話を聞くと、目標をもう少し高く持ってもいいのかなと思いました。しかも、これは令和7年度の話なので、今20%だからあと10%、大分先でも30%というよりは、もう少し高い目標値のもとで、健康診断や病気に対するブランディングを大正区で取り組んでいただけたらいいんじゃないかと思いました。</p>	石田委員	<p><古川 区長> 目標値については、受診率などいろいろ設定させていただいておりますが、それと実際の健康との関係など、また我々も研究していきたいと思っています。</p>	<p>特定健康診査受診率については、大阪市全体の目標値である30%を大正区における目標値としていますが、委員ご指摘のとおり毎年度の受診率の結果をみて、今後は区独自の目標数値を検討してまいります。</p>	保健福祉課（健康づくり）
25 がん・生活習慣病予防対策の推進	<p>ライフホームさんが出した「2023年みんなが探した！住みたい街ランキング」というのが上がっていて、本当にうれしかったんですが、大正区が第3位なんです。</p> <p>住みたいと思っている人がそれだけいるのに、平均寿命が大阪市より下というのはたまらんなと思うので、健康診断などをもっと明るくすることや、特定健診受診率の目標値を上げることなど、そういう見せ方も相乗効果として必要かと思えます。</p> <p>せっかく住みたいと思ってきている人が、何かポテンシャルに気づいて、あのまちおもしろそうやなとなってきているというデータだと思うので、そこをどんどん生かしてプラスに変えていただきたいなというふうに思いました。</p>	角元委員	<p><古川 区長> 住みたい街ランキングの上位なのに長寿のまちではないと言われるのも、随分しゃくに障りますので、広報を含めていろいろな方法がある中で、健康診断の受診についてしっかり考えていきたいと思っています。</p>	<p>広報紙5月号において、元気うちに特定健診を受けることのメリットについて掲載しました。今後も、明るく積極的に特定健診を受診していただけるよう広報に努めてまいります。</p>	保健福祉課（健康づくり）
26 がん・生活習慣病予防対策の推進	<p>特定健診について、5人に1人しか受診していない。例えば、我々の年代でも月1回ぐらい薬をもらいに行くので、かかりつけ医を受診する際に特定健診も受けれるように考えたらどうですか。</p> <p>個人情報なので分かるかどうか知りませんが、医療はどこでかかっているのか、健康保険証が何かで分かるのでは。医者の方と連携して、もっと簡単に受診できる方法を考えたらどうですか。</p>	堀江委員		<p>個人情報保護の観点から特定の目的以外で個人の診療情報を把握することはできませんが、定期的に医療機関を受診をされている方への受診勧奨について、医療機関関係者との連携を進めるなかでよりスムーズな方法を検討してまいります。</p>	保健福祉課（健康づくり）

議題3「令和5年度大正区事業・業務計画書（案）について」意見と対応一覧

【当日出された意見等】

テーマ	意見内容	委員名	回答	対応	担当課
27 がん・生活習慣病予防対策の推進	<p>個人的に特定健診以上の検査を受けているため、特定健診を受けない人も結構います。</p> <p>定期的に病院に通ってる人は、特定健診よりも若干精度の高い検査をしていたら、「うちでやってる検査のほうがちゃんと結果を全部データをとってあるんで、特定健診では通り一遍の検査しかないから受けんでええよ」とドクターが言います。</p> <p>全員にそれが通じるかは別ですが、それだけ大正区はかかりつけ医に通っている高齢者が多いのかなど思ったりします。</p>	大石委員		<p>委員のご意見のようにより精密な検査を実施されている方ももちろんあるかと思いますが、特に既往症等がない方については、体調を把握いただくとともに重症化する前の早期の異変に気づき、重症化を予防し生活習慣を見直す機会として、特定健診を受診いただきたいと思います。</p>	保健福祉課 (健康づくり)
28 防災防犯	<p>以前、大正区役所の前は停止ラインもなく、交通安全に対して全然なってないと言ったんですが、最近見たら右折ライン、左折ライン、停止ラインがすごくきれいにされています。</p> <p>一方で、各地域にある一方通行の停止ラインも全部消えているところがたくさんあります。こういうのも徐々に直していただきたいです。</p>	北川委員		<p>道路標示など、道路法及び道路交通法に基づく対応につきましては、所管となる警察や道路管理者等と連携しながら、引き続き取り組んでまいります。</p>	地域協働課 (防災防犯)

【ご意見シート】

	意見内容	委員名	回答	対応	担当課
29	<p>先日、市バスの話が出ましたが、私は市バスを重宝しています。膝を痛めている私にとっては、階段の上り下りがなく、目的地の近くまで行けるので最高の乗り物です。</p> <p>大正で育った私にとっては、区が衰退するのが残念です。三軒家東にはマンションが沢山建っていますが、ワンルームがほとんどで、単身者は町会には入りませんし、住民票も移さない人が多いそうで、家族での転入が望ましいです。そのためは、学校のレベルを上げるのもいいと思います。我が家の子供たちは転居の時は、ここの方が学校がいいからと言って選んでいました。それも選択のひとつだと思いました。</p>	仲田委員		<p>大正区では引き続き地域資源である千島公園を活用し、マルシェやまち歩きのにぎわいと魅力を創出する実証実験を行う中で、大正区エリアの価値を向上させ、持続可能なまちをめざしてまいります。学力向上の件につきましても『大正区将来ビジョン2025』柱の1つである『こどもの未来が輝くまち「大正」』の実現に向け、学校ごとの課題に応じた教材の配付や民間事業者の学習支援のノウハウを活用した放課後課外学習事業（つつじ塾）の取組をすすめてまいります。</p> <p>また、大正区のバスについては本数も多く、市内唯一の急行バスが運行され、梅田や難波、天王寺といった主要ターミナルまで直通で行けるなど非常に利便性が高いので、まちの暮らしやすさとしてアピールしてまいります。</p>	<p>総務課 (庶務)</p> <p>地域協働課 (地域協働)</p> <p>保健福祉課 (こども・教育)</p>

【区長発言】

〔冒頭あいさつ〕

今回は今年度最後の第4回区政会議ということで、本当に寒い中お集まりくださりましてありがとうございます。

今年1年議論してまいりました大正区の将来ビジョンでございます。2025という年次はちょうど万博の開催される年でもございまして、その前年ぐらいまでがちょうど私の任期であるということもありまして、令和5年からの3カ年の計画ということで、若干中期の計画に絞り込んで柱を立て、皆様とともに練り上げてきたビジョンでございます。こちらにつきまして、今までいただいた意見を総括していただき御意見をいただくとともに、よりよい大正区をめざして皆様とともにつくった柱が事業、施策という形で織り込まれていくように、このビジョンのほかにも大正区運営方針、そして事業・業務計画書について併せて御提案させていただくところでございます。

ビジョン本体につきましては、前回第3回にいただいた意見等を反映しております。例えば外国人への対応ですとか、健康長寿に向けた健診の受診率なども項目として追加させていただきました。皆様の御意見、本当にありがとうございました。

今日の御議論を踏まえまして、令和5年度が新たなビジョンの1年目、スタートラインとなりますので、皆様、大正区の区政について、これからも一緒に見守っていただければ幸いです。

今日は実りある議論をお願いしたいと思います。どうぞよろしくお願いたします。

〔閉会あいさつ〕

今年度1年間の長期にわたる大正区将来ビジョンの御議論、本当にありがとうございました。今日まで繰り返し意見交換をさせていただいたおかげで、一定の御理解もいただいたと思いますし、区民の皆様、そして我々自身もいろいろなことに対して着目点が増え、理解も深まったと思っております。皆様の御議論のおかげです。本当にありがとうございました。

そして、今日は将来ビジョンだけではなく、予算の枠組みについてもとてもよい意見交換ができたと思っております。本当に御質問ありがとうございました。

そして、図らずも展開していったのが健康への取組、これは皆様の意見が区政の方向性、こうしてほしいという方向性を決めるものになりつつあるなと思っております。本日は今日得るものがあったと思っております。姉川委員がおっしゃっていた、健康度の決定要因であるSDHという数値にも着目しながら、これが非常にばらつきがあって、大正区の要因レベルが低かったりしたら何か考えていかなければいけないと思います。角元委員がおっしゃっていただいたように、住みたい街ランキングの上位なのに長寿のまちではないと言われるのも、それも随分しゃくに障りますので、やはりその辺をしっかりと、広報を含めて健康診断の受診、いろいろな方法があると思いますので、考えていきたいと思っております。それから目標値についても、受診率などいろいろ設定させていただいておりますけど、それと実際の健康との関係など、また我々も研究していきたいと思っております。その他、安全安心、防災備蓄品、地域活動、様々な御議論をいただきました。本当にありがとうございました。

今年度はこれをもちまして区政会議を閉じてまいります。また新たな将来ビジョンをもとに、皆様とともに新しいビジョンの計画期間を一步步ずつ歩いていきたいと思っております。引き続き、区政への御協力をどうぞよろしくお願いたします。本日は誠にありがとうございました。